

予選ラウンド〈各チームの考えた“事前”〉記録：栗生・奈良先生 A（1年）

みんななかよくたのしいクラスへ

10月に「もっとみんななかよくなるうね会」を開催する

ポイント 「経験させる」→様々な場面で、段階に合わせて（例：名前ゲーム）

B（2年）

「自分の思いを出し合えるドッジ大会」を実施

ポイント ①事前の経験を積む
②意見を出し合える場（帰りの会など） 思いやアイデア

C（2年）

まとまりのあるクラスへ

学年レクリエーション大会を実施

ポイント トロフィーなどの小道具で盛り上げる
クラス間の果たし状も。 勝つために話し合い→練習し→振り返る

D（3年）

進んで関わり合えるクラスへ

学年オリンピックをしよう！

ポイント めあての振り返り
オリンピックVTRを見せる（そこからつぶやき） → みんなで遊ぼう！
→仕掛けをしつつ、発表が出るのを待ちたい

E（3年）

仲良し金メダルなクラスへ

9月末オリンピック大会を開催

ポイント あえて「困る」「イヤだ」を出させる。
多用なジャンル（知識・体力・技術・チーム・運）に項目分けし、自分で
エントリーする方法

F（4年）

明るく元気なあいさつをするクラスへ

まずは学級目標の再設定を行う → 9月に2回目のお楽しみ会→11月に3回目

ポイント ビー玉貯金、クラス遊びタイム、学活掲示版などによるパワーアップ

G（4年）

まとまりのあるクラスへ
ギネス大会を実施

ポイント ワールドカフェによる話合い 金メダルづくり（プレゼント）

H（3～4年）

Hotもっと もっとほっとする もっとあついクラスへ
遊びの会へ

ポイント 週替わりメニュー（実際には長期で）
（月）振り返り（火）学級目標をつくる（水）調べる
（木）HOTもっとリスト<やりきるリスト>（金）PDCA

I（5年）

思いを伝え合えるクラスへ

ポイント あえて「つまらない先生」→子どもに危機感を持たせる
おもしろい僕たち→意見を出し合う場
おもしろいの競演→経験を積み重ねる

J（5年）

クラス愛のあるクラスへ
「学級目標をつくろう」

ポイント ①オープンクエスチョン ③学活掲示版
②親子アンケート（親へ発信） ④親子でワールドカフェ（授業参観などで）

K（6年）

6の3ッドイッチーズ夏祭り

ポイント 残暑見舞いを出す
夏の思い出を語り合いながら福引き（大抽選会）
教師の仕掛けが子どもたちを動かす！

L（6年）

自分たちの力でつくりあげるクラスへ
陸上記録会に向けて

ポイント ①絆創膏メッセージ（選手から応援団へ） ③がんばったねの会
②陸上大会実行委員会を立ち上げる

決勝ラウンド<最優秀“事前”はどのチームに!?!>

銅メダル Kチーム (子どもの目線・実態に即している)

6年生なのにまとまらない → 自己肯定感が低い実態 ← 教師も本気でぶつかる

①残暑見舞いを出す

②福引き→お祭りの実践 8グループ

教師もサンドイッチーズの一員として出店

衣装ははっぴと豆絞り

フィナーレはかき氷屋さん

銀メダル Lチーム (つながりをもつための手立てが明確)

まとまりのない6年生 → 陸上記録会は自分たちの力で一致団結できるチャンス

①ばんそうこうメッセージ 応援団と選手団をつなぐ

「選手の力になるんだ！」 子どものつながりを生む

②実行委員会・・・自分たちがやっているんだ！という気持ち 意欲を高める

※陸上に限らずどんな場面でも使える

③がんばったね会・・・がんばってきたまとめ・個人の振り返り

金メダル Hチーム (子どもが主体的にがんばれる・流れ)

もっとほっとする もっとあつくなれるクラスへ

10月末のお楽しみ会を目指して学活掲示版を活用

月 ふり返し

火 学級目標づくり

水 しらべんとう・・・なかなか調べられない個人差を配慮し、グループで取り組む

木 リストづくり

金 PDCA D・・・調べた人がやる、先生がモデルを示す

C・・・その場でチェックする

思いをシェアし、何を目標していけばいいかを気付かせる

熱い語り、見事なパフォーマンスに大いに盛り上がったワークショップ。
夏休み明けのアイデアをたくさん得ることができました！